

平成 22 年 度

後継者育成支援事業実施報告書

平成 23 年 1 月

(財) 鳥取県生活衛生営業指導センター

目 次

項 目	ページ
1 背景・目的	1
2 事業実施概要	1
3 事業実施状況	2
4 事業関係者の意見	6
5 後継者育成推進事業に関する高等学校アンケート結果	9
6 評価と課題	12
参考資料	13

1 背景・目的

生衛業界は家族経営を中心とする小規模な経営形態が多数を占めており、平成18年度に実施した鳥取県の生衛組合に対する意識調査の結果、約6割が高齢化及び後継者難を喫緊の課題として挙げている。

一方、最近の高卒者の就職内定率は97.0%(平成21年度末)と全国平均より高いものの、就職後3年以内の離職率は50%を超す(平成18年度末)状況で、社会人としての基礎的な能力の養成・強化が求められており、企業と連携した実践的なインターンシップの重要性が増している。

このため、本年度は昨年度の課題を踏まえ、衛生の確保、持続可能な実施体制に向けたモデル事業の実施及び事業結果の検証を行うことにより、若年者の生衛業に対する職業観の向上及び生衛業への就業促進について、実効性確保の観点から後継者育成に資することを目的とする。

併せて地域雇用の確保にも期待する。

2 事業実施概要

1) 後継者育成支援協議会の設置

当指導センター及び鳥取県理容生活衛生同業組合が実施する後継者育成支援事業の実施計画書やプログラムを協議し、モデル事業を評価するため以下の構成による協議会を平成22年8月30日に設置し、計2回開催した。

【後継者育成支援協議会の構成】

教育・学校関係者

鳥取県立鳥取緑風高等学校教諭
学校法人松柏学園倉吉北高等学校教諭
鳥取県理容美容高等専修学校校長

生衛業界関係者

鳥取県理容生活衛生同業組合 理事
鳥取県理容生活衛生同業組合 理事
鳥取県理容生活衛生同業組合 鳥取支部教育部長

行政関係者

鳥取県企画部青少年・文教課 企画員
鳥取県商工労働部雇用人材総室労働政策室 主事
鳥取県教育委員会高等学校課 指導主事

鳥取県生活衛生営業指導センター

理事長
計10名

2) 生活衛生同業組合によるモデル事業

実施計画に基づき以下のとおりモデル事業を実施。

鳥取県理容生活衛生同業組合

【東部地区】

日 時：平成22年10月12日

場 所：鳥取市湖山町南3丁目848

鳥取県立鳥取緑風高等学校

対 象：1年生 63名、夜間1年生12名及び教諭

【中部地区】

日 時：平成22年 9月 6日

場 所：倉吉市福庭町1丁目180

学校法人松柏学園 倉吉北高等学校

対 象：1年生163名及び教諭

3) 出前体験授業に関するアンケート調査

時 期：平成22年10月

対 象：鳥取県に所在する公私立高等学校（特別支援校を除き中高一貫校含む）31校

回答状況：回答数19校（回答率61.3%）

3 事業実施状況

1) 後継者育成支援連絡協議会

【第1回連絡協議会】

日 時：平成22年8月30日 13時30分から

場 所：鳥取市末広温泉町556 白兔会館 せきれいの間

議 題

- ①後継者育成支援連絡協議会設置要綱について
- ②平成21年度後継者育成支援事業の結果について
- ③事業計画（案）について、事業スケジュール、プログラム

【第2回連絡協議会】

日 時：平成22年12月20日 13時30分から

場 所：鳥取市末広温泉町556 白兔会館 青島の間

議 題

- ①平成22年度事業の結果について
- ②平成22年度高等学校へのアンケート結果について
- ③事業の評価と課題の整理

2) 鳥取県理容生活衛生同業組合によるモデル事業

【東部地区】

日 時：平成22年10月12日

場 所：鳥取市湖山町南3丁目848

鳥取県立鳥取緑風高等学校

対 象：1年生 63名、夜間1年生12名及び教諭

鳥取県立鳥取緑風高等学校理容体験学習プログラム（80分コース）

12:50 授業スタート <会場に入るとき、生徒・先生に手指消毒をしてもらう。>

理容界最新ニュース 映像DVD放映

13:10 未来ある理容業について（メッセージ）

＜メッセージのなかで消毒の大切さもアピールする。＞

緑風学校側代表挨拶

理容組合鳥取支部長挨拶

13:15 デモスト（カット、セット、エステシェーブ、ネイル等）

＜デモスト担当は消毒して仕事に入る。＞

13:35 体験実習（モデルウィッグ（人形）でカットの楽しさ体験してもらう。）

＜実習の前に生徒全員に消毒をしてもらう。＞

13:55 アンケート記入及び感想を聞く。

14:10 閉会

【中部地区】

日 時：平成22年 9月 6日

場 所：倉吉市福庭町1丁目180

学校法人松柏学園 倉吉北高等学校

対 象：1年生163名

学校法人松柏学園 倉吉北高等学校理容体験学習授業スケジュール『90分授業』

13:30 学校代表挨拶（校長先生）

組合代表挨拶（県副理事長）

13:34 倉北ダイジェスト放映（県講師 2名）

青年部パフォーマンス（卒業生組合員が先生カット）

13:37 スピーチ（卒業生組合員代表）

13:40 青年部 デモスト（カット、セット、シェーブ、エクステ、ネイル等）

14:05 デモスト終了（郡支部青年部長）

14:07 記念撮影（モデル全員）

14:10 体験学習（全員・生徒全員）

14:50 体験学習終了

バリアートコンテスト授賞式

14:52 生徒代表謝辞（1年代表）

14:55 閉会の言葉（県広報部長）

14:57 写真撮影（163名＋組合員全員）

15:00 閉会

【鳥取県立鳥取緑風高等学校理容体験学習】



【学校法人松柏学園 倉吉北高等学校理容体験学習】





4 事業関係者の意見

1) 生徒の意見及び反応

【これまでの理容へのイメージ】

- 髪を切る事はそんなに難しくないと思っていた。
- これまでの理容のイメージは、ただ客に言われた通りに髪を切ったりするのだと思った。
- おじさん達が通っているようなイメージ。坊主にする為に行くところ。
- 理容と美容は全く一緒だと思っていた。
- 手が器用な人じゃないと難しそう。
- 床屋、髭剃りをする。男がよくくる。
- 理容師の人は、髪を切りながら、世間話をしていて器用な人だと思っていた。
- 女の人より男の人のお客さんの方が多いイメージでした。
- あまり理容という言葉聞いたことがなく、まじかで見たととき美容師という職と同じじゃないかと思っていました。
- ただ髪を短くして整えるだけかと思っていた。
- 美容のイメージが強く理容はメジャーじゃないと思っていた。
- シャンプーをして髪を切ったり髭をそったり床屋のイメージ。

【体験学習の感想】

- 体験学習をしてすごくいい体験をしたと思う。いろいろな技術があるのだと実感しました。
- 生で切る所を見たり、エステをしている所を見たり質問出来て楽しかったです。実際に切ってみて、大変な事だと思いました。エステは習ってみたいと思いました。
- ハサミを持って切るのは簡単そうに見えたけど、自分で体験してみてもすごく難しかったです。修行経験だなと感じた。
- もっと興味がわいたので、絶対専門学校に行って仕事を始めたいなあとと思いました。
- 髪を切ったり、切る所を見ているのは楽しかったです。自分の将来の一つとして、参考にしていきたいと思った。
- 今までのイメージを180度変えるくらいカッコ良かった。いろんなカットの仕方があってビックリした。

- 他の人が切っている所を見たら簡単に見えるけど、いざ自分がやってみると思った以上に難しくて驚きました。
- いろいろな話を、聞いたり・見たり・体験したりしてすごいなーと思った。髪を切る体験はすごい楽しかったです。スライドカット？がすごかったです。
- 私は理容師（美容師）になろうと昔から思っていたけど、この体験学習で絶対になろうと思いました。
- 理容がどういう仕事かわかってよかった。
- 色々な髪型があってすごかった。（ウィッグ、編込み、エクステ）
- 風船を使ったシェービングが怖くてなかなか剃れなかった。
- イメージが全部変わった。いい意味で良くなった。
- 貴重な体験ができこれからの良い勉強になった。
- 夢に近づけた。

2) 組合の事業責任者の意見

【東部地区実行責任者 前田 靖夫】

今回で課外授業も4回目になりました。

1回目から責任者を任されましたが、最初は進路指導の先生も理容業に対して理解が薄く、授業内容も学校側は不安をもっておられ大変でした。

最初にくらべると授業内容、そして理容を学校側にも理解して頂くことができ、生徒の皆さんにも少しずつ浸透し価値のある授業として認めてもらい嬉しく思います。この事業に協力してくださるメンバーのエネルギーが先生、生徒に伝わっているように感じています。

今回の反省会では、来年度の授業に向けて、もっと「シェービング」「フェイシャルエステ」を取り入れては、「メッセージにインパクトを」など意見がでています。次回の授業に活かすことができればと考えています。

課外授業を担当してきて、育成事業としてのみならず理容をアピールする事業としても、若手組合員が経験する場としても効果があると思います。

課外授業を来年、再来年と続けて行くことは、組合（理容業）にとってプラスになることはあってもマイナスになることはないと感じています。

しかし、この事業、後継者育成ということを考えると、理容学校に入ってもらうことは、もちろん大切ですが、組合員各店舗のスタッフ受け入れ体制にも力を入れないと・・・こういう時代なので難しいとは思いますが・・・。

【中部地区実行責任者 戸崎 恭一郎】

今回で4回目を迎えた課外体験学習も、中部3地区理容協議会の組合員、青年部員の参加者の協力と、倉吉北高等学校校長そして先生、170名近い生徒の協力で無事終了しました。

育成者事業は大成功に終わり、胸をなでおろしているところです。

しかし、今後の一番の課題は事業の継続、当然活動の基盤となる予算の問題、指揮を取る人材、後は参加する組合員のこの事業に対する誠意ある協力ではないかと思っています。

最近、参加した組合員から結果はどうかと聞かれ、今春が最初の体験学習経験者が卒業した事になり、生徒の進路を問いただす人も出始めました。調べによるとまだ良い結果は出ておらず、いまだに理容と言う仕事を生業として選択する生徒は出ていないようである。

しかしながら、現在選択肢の中に入っていないくても、行く先もしも転職した場合や、過去の理容

体験学習の体験談を第3者にも伝え好影響を与え、新たな選択肢として勧めてくれる可能性も十分考えられます。

取り組んできた皆の努力が、種まきの事業としてこの先、結果を出す時が必ず来ると信じていますが、空しい結果が今後も続くのなら、いつかきっとこの事業は難しい局面を迎えるのでは無いかと懸念しています。

今後事業継続して行く為には、業界内の自助努力はもちろん会員の自主的参加、どんな人が指揮を取っても、協力して行くシステムを作ってゆかねばならないと思っています。

今年度後期の理容師国家試験受験者が1000名程度、合格者は50%程度との報告を受けていますが、全国47都道府県で割っても22人程度の人材しかいない事になります。少子化が進んでいる現実がまざまざと重くのしかかり私達の技術、伝統、理容魂を子孫、後継者達に託し継承させるのには余りに大きなリスクと不安があると感じています。

今後の対策として、お願いしたいのは育成者事業はボランティア的要素の比率が高い事業です。で、国、県の地方自治体が正式な形として事業をサポートして行くシステムを構築して下さらないかと感じています。

3) 学校側の意見

【鳥取県立鳥取緑風高等学校】

昨年度に引き続き、鳥取県生活衛生営業指導センター並びに鳥取県理容生活衛生同業組合のご協力のもと、理容体験学習課外授業プログラムを本校で実施することができました。

このプログラムは科目「産業社会と人間」の進路を考える中心的な行事として定着してきており、生徒の取り組み状況もよく、貴重な体験学習の時間となっている。

今回はモデル希望者が少なく、心配された面もあったが、積極的にモデルになりたいと手を挙げてくれた生徒がおり、昼間部・夜間部とも例年と同様に落ち着いた雰囲気の中で実施することができた。

体験学習後のアンケートでは、理容師に関心を持ったと回答した生徒が多く、体験学習で理容師という仕事を通し、「将来を考えるきっかけをつかんだ生徒が増えた」との報告も担任団から受けており、この事業の効果は大きいと考えている。

理容業界の後継者育成という面から見ると課題は残るが、理容のイメージが変わったと感じる生徒もおり、理容業の魅力や理容業に対する理解や関心が高まったといえる。

本校の生徒は、インターンシップなどの体験をしていないと思われる生徒が多く在籍している。そうした中で、このような体験授業はその生徒たちにとっては貴重な時間となっており、可能な限り継続して実施させていただきたいと考えている。

【学校法人松柏学園 倉吉北高等学校】

本校では職業理解の一環として、毎年、1年生を対象として理容体験実習を行っています。

今回も、理容を理解することを目標に、理容業の方々にお世話になりました。年々、様々な工夫が凝らされており、楽しみにしている行事の一つであります。特に今回は、本校の卒業生が、この仕事を目指すにいたった経緯（高校時代の恩師（現校長）の言葉）や、仕事における苦労話、また、それをどう乗り越えていったか、といった内容のスピーチが行われました。本校のOGということで生徒の関心が高かったです。

また、デモンストレーション中のナレーターや、インタビュアー、バリエーション審査等、盛りだくさんの取組みに、生徒は充実した時間を過ごしました。その後、グループに分かれ、カット、シェービング技術を全員が体験しました。

理容師さんたちの丁寧、かつユニークな指導のおかげで、生徒は達成感を味わったと思いま

す。特に、理容師を目指している生徒が数名いますが、多くのことを学べたと思います。

学習体験全体を通して感じたことは、生徒が非常に生き生きしていたことです。今回の体験実習で、自分の進路について考える生徒が増えたことは、大きな収穫でした。

最後に体験実習の実施に当たりご尽力いただいた戸崎さんをはじめとした理容関係の方々に、学校生徒を代表し厚くお礼申しあげます。ありがとうございました。また来年もよろしくお願ひします。

5 後継者育成推進事業に関する高等学校アンケート結果

1) 目的

(財)鳥取県生活衛生営業指導センターでは、理・美容業の出前体験事業本事業を平成19年度から実施しており、平成22年3月に受講生第1陣が卒業したため、本事業の効果を測定することを目的として県内の31高等学校を対象に進路状況等のアンケートを行った。

2) 回答状況等

対象：鳥取県に所在する公私立高等学校（特別支援校を除き中高一貫校含む）31高校

実施時期：平成22年10月

回答状況：回答のあった学校は19校（回答率61.3%）

3) 回答の概要

問1 貴校の職業教育について

(1) どのような体験プログラムを実施しているか（複数回答）

インターンシップ10

生徒による物品販売の実施3

出前授業5

専門員による実習2

その他7→校外見学3、職業別講演会1、キャリアデザイン講座1、なし2

(2) 理・美容業の出前授業受入れ経験

ある4

ない14

無回答1

(3) 理・美容業の出前授業受入れ校に対し質問

(受け入れ校以外も2校がインターンシップと読み替え回答された)

【受入れ業種】

製造業4

サービス業6

1次産業1

その他3→建設業、多業種

(3-1) 受入れ期間

1 週間程度 1

その他 3 → 3 日、2 時間、50 分、内容による

(3-2) 企業の確保状況

順調に確保できる 3

企業回りをすれば確保可能 2

その他 1

(4) 受け入れ理由

組合から申し込みを受け効果的と判断 4

(5) 出前授業を受け入れてない学校へ その理由は

新規プログラムは不要 2

理・美容業の出前プログラムは聞いたことがない 2

学科構成等から方向が異なる 9

その他 4 → 現在は不要、オープンキャンパス活用、他の方法、業者ガイダンスで専任講師

- ・ 現に実施されている職業教育プログラムで最も多いのはインターンシップ、次いで出前授業、物品販売の順で回答校の中にはプログラムがないとの回答もあった。
- ・ この内、理・美容業の出前講座を受け入れたことのある学校は 4 校。
- ・ 受け入れ期間は 2 時間、50 分、「内容に応じて」となった。
- ・ 企業の確保は、「順調に確保できる」、「担当教員が企業回りすれば何とか確保できる」が主で、「断られる」との回答はなし。
- ・ 受け入れた理由は、4 校とも「組合から申し込みを受け効果的と判断」と回答。
- ・ 受け入れてない理由は、以下の順で①及び②は進学校と工業系の学校が占めた。
 - ①学科構成等から方向が異なる。 9
 - ②その他 5
 - ③新規プログラムは不要 2
 - ④聞いたことがない 2

問 2 出前受け入れ校の評価

(1) 理・美容業の体験授業参加生徒数

H19 196 (3校)

H20 265 (4校)

H21 286 (4校)

(2) 職業教育の効果

効果がある 4

ない 0

その他 2 → 希望が少なく判らない、人生訓的に有効 (いずれも受け入れてない学校が回答)

(3) 効果があると回答した学校に その理由

やる気が出る等教育効果 2

理・美専修校進学者があった 3

理・美容師業務への興味・認識の向上 2

その他 1

(4) 効果がないとした理由 0

(5) 出前方式の改善点は 0

(6) H18～21年度の理・美容師養成校進学者数

H18 32 (7校)

H19 24 (6校)

H20 26 (9校)

H21 27 (9校)

(7) 上記中、出前授業受講者数

H18 0 (0校)

H19 4 (1校)

H20 4 (1校)

H21 13 (3校)

- 美容業の体験授業参加生徒数はH19年度に3校196名、H20年度に4校265名、H21年度に4校286名となっているが、この内H19年度は振興補助金事業（県1/2補助）で実施。
- 教育効果については、全校とも「ある」と回答。
- 効果がある理由は、
 - やる気が出る等教育効果2
 - 理・美専修校進学者があった3
 - 理・美容師業務への興味・認識の向上2
 - その他1

表 平成18年度以降の理・美容師養成校進学者数と出前授業受講者数

年 度	理・美容師養成校進学者数	出前授業受講者数	備 考
H18年度	32 (7)	—	
H19年度	24 (6)	4 (1)	敬愛高校
H20年度	26 (9)	4 (1)	敬愛高校
H21年度	27 (9)	13 (2)	敬愛、倉北、緑風高校

※上記以外、出前授業を受け入れていない学校で毎年理・美容師養成校に2、3人の進学者があると回答した学校があり、毎年の進学者数は上表より多いと推測される。

問3 意見・要望等

- 授業として実施しており重要な場、生徒も興味を持ち継続を希望（実施校）
- 毎年理・美容師養成校に2、3人の進学者があり、東部で会場を設け体験学習してほしい（未実施校）
- 毎年理・美容師養成校に2、3人の進学者があるが数が少なく出前授業を組込むことは困難（未実施校）
- 毎年理・美容師養成校に2、3人の進学している状況（未実施校）
- 他の出前とセットであれば実現しやすい（未実施校）

4) アンケート結果の総括

以上の結果から見る限り、次のように評価できる

- 1) 現在実施中の理・美容出前体験学習プログラムは受入れ校から一定の評価を受けており、今後継続して実施していくことが可能と判断される。
- 2) 受入れ校は、過去3年の経過の中でほぼ絞られてきている傾向にある。
- 3) 進学校、工業系・商業系高校では、一般に現状の形態のままで受け入れられる可能性は少ないが、年間2、3名程度の進学希望者があり、特定の高校以外（例えば理容美容高等専修学校など）で実施すれば、体験学習への生徒の参加が見込める可能性はある。
- 4) 過去3年間のモデル事業の結果をみると、このプログラム受講者による理・美容師養成校への進学者が増加し始めており、本事業の効果と判断される。

6 評価と課題

【評価】

- ・ 出前体験授業を受講した高校生は、組合員による実演・実技体験を通じ理容技術の奥深さと多様さを感じると共に、従来抱いていた理容業に対する職業観が大きく変化しているのが確認できた。
- ・ 殆どの生徒が理容業に興味を抱くと共に、将来理容業を職業にしたいと考えるようになった生徒もあるなど、今後の進路選択に大きな影響を及ぼしている。
- ・ 今回、この事業を受入れていただいた学校はいずれも継続を要望されている。担当の先生方始め組合員との間に信頼感が生まれる等、今後持続的な実施にむけた良好な関係が出来上がりつつあり、モデル事業の域を超えた取組みに転換すべき時期にきていると考えられる。
- ・ この事業に参加する若手組合員にとり通常ではできない体験の場となっており、組合側にとっても若手育成の貴重な機会となっている。
- ・ 出前体験授業を始めて今年で4年目となる（平成19年度は鳥取県生活衛生営業振興事業補助金を受けて実施）が、継続的に受入れていただいた学校を中心として卒業生の進路を追跡すると、理・美容師養成校への進学者の増加が確認され、本事業による後継者育成効果と判断される。

【課題】

- ・ 今回、指導センターが県内31の高等学校に対して行ったアンケート結果では、クラスや学年単位の出前体験学習プログラムは、志望者の少ない進学校や工・商業系の学校には受入れ困難であると回答されている。しかしこれらの学校でも毎年数名は理・美容師養成校への進学者があり、このようなケースに対応可能な体験学習メニューを工夫する必要がある。
- ・ 本県には組合員の皆さんの出資により設立された理・美容師養成校があり、県内の子弟に利便性の高い学校であるが、近年理容科の学生が減少傾向にあり、この傾向に歯止めをかけることを

念頭に置くことも重要と考えられる。

- ・ 後継者育成事業は続けることが重要であり、持続性を高めるためには事業効果の把握と併せ、今後、担当組合員の負担軽減、経費の縮減等の努力が必要である。
- ・ 昨年の新型インフルエンザに代表される様に近年感染症が流行しており、県民の安全を守る生活衛生営業としてプログラムには必ず衛生対策を取り入れる等の対応が不可欠である。

参考資料

出前体験授業に関するアンケート調査票

【調査票記入のお願い】

(財)鳥取県生活衛生営業指導センターでは、理容・美容業の組合と連携して平成20年度から高等学校を対象に出前体験授業を実施しております。本年度で3年目となるのを契機に各学校の職業教育の担当の皆様にご意見を伺い、今後の改善に役立てたいと考えておりますのでアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

【回答者記入欄】

- 1 学校名
- 2 所在地 〒
- 3 記入者 職 名 :
氏 名 :

問1 貴校の職業教育についてお伺いします。

(1) あなたの学校では、どのような職業体験プログラムを実施しておられますか。

- ① インターンシップ
- ② 生徒による物品販売の実施
- ③ 出前授業
- ④ 専門教員による実習
- ⑤ その他()

(2) あなたの学校では、これまで理容・美容業などの出前体験授業を受け入れられたことはありますか。

- ①ある。
- ②ない。

(3)(2)の設問で①とお答えになった学校にお聞きします。受入れている企業はどんな業種ですか。

- ① 製造業
- ② サービス業
- ③ 1次産業

④ その他()

(3) - 1 受入れ期間はどの程度ですか

- ① 1週間程度
- ② 1月程度
- ③ 3月以上
- ④ その他()

(3) - 2 受入れ企業は順調に確保できますか。

- ① 毎年希望生徒数に見合う企業が順調に確保できる。
- ② 担当教員が企業を回りすれば何とか確保できる。
- ③ 受入れを断られることが多く困難な状況。
- ④ その他()

(4) (2) の設問であるとお答えになった学校にお聞きします。受け入れ理由をお聞かせください。

- ① 組合から申込みがあり職業教育の方法として効果的と判断したため
- ② 新聞等でみて職業教育の方法として効果的と判断したため
- ③ その他()

(5) (2) の設問でないとお答えになった学校にお聞きします。これまで受け入れられてない理由をお聞かせください。

- ① 新たな職業教育プログラムは必要ないと判断しているから
- ② 理容・美容業の出前体験授業は聞いたことがなかったから
- ③ 学校の学科構成等から考えて進路の方向が異なると判断しているから
- ④ その他()

問2 問1の(2)の設問であるとお答えになった学校にお聞きします。理容・美容業などの出前体験授業の評価等についてお聞かせください。

(1) 今まで理容・美容業の出前体験授業に参加した人(生徒)は何人ですか。

平成19年度	人
平成20年度	人
平成21年度	人

(2) 理容・美容業の出前体験授業は、貴校の職業教育に効果があると思いますか。

- ① 効果がある。
- ② 効果がない。
- ③ その他()

(3) 設問(2)で「①効果がある。」と回答された方について、その理由として該当するものはどれですか。

- ① 受講した生徒にやる気が出るなど教育効果があった。
- ① 理容師・美容師養成学校への進学者があった。
- ② 業務(理容師・美容師業務)への興味・認識が高まり、就業への関心が高まった。
- ③ その他()

(4) 設問(2)で「②効果がない。」と回答された方について、その理由として該当するものはどれですか。

①理容師・美容師養成学校への進学者がなかった。

②生徒に理容師・美容師業務への興味・認識の向上がなく、就業への関心も低い。

③その他 ()

(5) 主として設問(2)で「②効果がない。」と回答された方について、理容・美容業の出前体験授業の方法に関し改善の必要があるとお考えの場合、又はこの方式以外に効果的と思われる方法があればご記入ください。()

(6) 平成18年度から21年度の卒業生で理容師養成学校又は美容師養成学校に進学した人は何人ですか。

平成18年度 人

平成19年度 人

平成20年度 人

平成21年度 人

(7) 理容師・美容師養成学校に進学した人のうち理容・美容業の出前体験授業に参加した人は何人ですか。

平成19年度 人

平成20年度 人

平成21年度 人

問3 理容・美容業などの出前体験授業について、学校の進路指導との関係での要望や意見等をご記入ください。

()

ご協力ありがとうございました。